

科目名	社会福祉演習 I L					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4244

●授業のテーマ

地域福祉の前提となる基礎知識を学ぶ

●到達目標

地域福祉の前に、地域特性についての理解と分析能力を高め、地域特性の把握、地市分析の手法等を理解する。

特に自らの所属する地域社会の特性を把握し、地域福祉問題構造を把握する。

●学習内容(授業概要)

地域福祉活動は、住民による日常的な交流・連携を基礎としながら、地域にある生活問題を緩和・解消する、住民が主体となって担われる組織的活動をいう。演習参加者各自が自分の関心・テーマを持ち、実際に展開されている地域福祉活動に学びながら、その内容を理解し互いに論じ合うことで、これからの社会福祉の展望を見出していきたい。

なお、演習参加者の直接的な関心対象・分野が「地域福祉」でなくても、各対象へのアプローチの方法及び課題解決に向けた考察の中で、地域福祉の方法によって、その考察を再構築することも可能である。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション(自己紹介)
2. 地域社会の理解(1) 地域特性の把握方法
3. 地域社会の理解(2) 地域特性の具体的理解(我が町の地域特性1)
4. 地域社会の理解(3) 地域特性の具体的理解(我が町の地域特性2)
5. 地域社会の理解(4) 地域特性の具体的理解(我が町の地域特性3)
6. 地域分析の手法(1) 統計の入手方法・統計分析の方法
7. 地域分析の手法(2) 「地価」から見る地域分析(1)
8. 地域分析の手法(3) 「地価」から見る地域分析(2)
9. 地域分析の実際(1) 発表と討議①大都市部中心市街地
10. 地域分析の実際(2) 発表と討議②大都市部周辺部・新興地方都市
11. 地域分析の実際(3) 発表と討議③伝統的・中山間地方都市・中山間地
12. 地域特性の把握(1) 発表と討議①大都市部
13. 地域特性の把握(2) 発表と討議②地方都市部
14. 地域特性の把握(3) 発表と討議③中山間地
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、授業内容を確認するとともにテーマに沿って関連する領域についてもさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

議論への参加状況 (50%)  
発表及び内容 (50%)

●テキスト (必携)  
授業時に指示する

●参考文献／その他  
授業時に指示する

●履修上の注意